土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　令和2年度　二級河川　沼田川水系　宗郷川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	広島県 三原市 宗郷町					北　緯	34° 22′ 23.8367″
発注機関	広島県 東部建設事務所 三原支所			調査期間	令和02年11月12日～令和02年11月18日			東　経	133° 03′ 48.2659″
調査業者名	株式会社アース開発コンサルタント 電話(0823-70-3555)	照査技術者	吉原　英明	管理技術者	寺本　邦雄	コア鑑定者	竹上　浩嗣 地質調査技士登録番号 第09041号	ボーリング責任者	杉山　勝美 地質調査技士登録番号 第20353号
孔口標高	T.P. 88.05 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1
総削孔長	9.00 m							エンジン	ヤンマーNs110C　ポンプ：東邦地下工機BG3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
	87.20	0.85		玉石混じり砂礫		暗灰～茶褐			φ=5～40mmの亜円礫が主体。基質は粗中砂状を示す。コア長L=3～15cmの玉石を混入する。	11/16 0.20 ▽ 11/17 0.20 ▽
1	86.05	2.00		砂礫		淡茶灰	中ぐらい		φ=5～30mmの亜角，亜円礫が主体。基質は粘土混じり砂状を示す。含水比がやや高い。	11/14 0.30 ▽
2				玉石混じり砂礫		暗灰～淡褐灰	非常に密な		φ=10～60mmの亜円礫が主体。コア長L=3～22cmの玉石を混入する。礫種は泥質岩が主体で花崗岩が混在する。玉石コアはハンマ軽打で濁音～金属音を発し，軟岩～中硬岩クラスの硬度を有する。	
3										
4										
5										
6	81.85	6.20								
7				風化花崗岩		淡褐灰			粗粒黒雲母花崗岩の風化岩。コアは岩片状～短柱状が主体。コア肌は粗面状，ハンマの軽打で濁音を発し，分離する。キレツは水平～低角度主体。キレツ面は原岩色と褐色に酸化したものが混在する。岩級区分CLクラス。	
8										
9	79.05	9.00								

標準貫入試験 N値 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
		1.15											
	15.0		4	6	5	15							
		1.45				300							
	1500.0	2.00	50			50							11/13
		2.01	10			10							
	750.0	3.00	50			50							
		3.02	20			20							
	750.0	4.00	50			50							
		4.02	20			20							11/14
	1500.0	5.00	50			50							
		5.01	10			10							
	1500.0	6.00	50			50							
		6.01	10			10							11/16
	1500.0	7.00	50			50							
		7.01	10			10							
													11/17